

株式会社トミー  
〒124-8511 東京都葛飾区立石7-9-10

お問い合わせ先  
TEL 03-3693-8422

ホームページアドレス  
<http://www.tomy.com>

決算期	毎年3月31日
定時株主総会	6月中
基準日	定時株主総会については毎年3月31日、その他必要があるときはあらかじめ公告する一定の日
配当受領株主確定日	毎年3月31日及び中間配当を行うときは9月30日
1単元の株式の数	100株
公告掲載新聞	東京都において発行される日本経済新聞
名義書換代理人	中央三井信託銀行株式会社 東京都港区芝三丁目33番1号
同事務取扱所	中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
郵便物送付及び電話照会先	中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 03(3323)7111(代表)
同取次所	中央三井信託銀行株式会社 全国各支店 日本証券代行株式会社 本支店、出張所

(お知らせ)

住所変更、単元未満株式(端株)買取請求、名義書換請求、配当金振込指定に必要な各用紙のご請求は名義書換代理人のフリーダイヤル0120-87-2031で24時間受付しております。

## 第52期 中間事業報告書

平成14年4月1日～平成14年9月30日

**TOMY**  
Dream Energy

株式会社トミー

株主の  
皆様へ

トピックス

決算情報

ネットワーク

ヒストリー

会社概要

中間

平素は、株主の皆様にご厚情、ご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

## 2002年9月中間期

当中間期の日本経済は景気の底入れから一部に持ち直しの動きがみられたものの、環境は次第に厳しさを増し、玩具業界も大きな盛り上がりには欠けたまま推移しました。

こうしたなかで、当社グループは開発と販売体制の強化を目的とした組織改革や、赤字子会社の再建などを進めてまいりました。これらの施策は私達トミーが今期のスタートに当たって掲げた「原点回帰」の考え方に基づいて実施されたものです。事業面では、ディズニー商品につきまして、グループ、サブライセンサーを含めた事業の本格化を積極的に推進しました。これにより、ディズニー商品は売上も大きく増え、キャラクター事業の中心的存在となっております。キャンディトイの分野では、ディズニーキャラクターなどを積極的に活用して、他社との差別化、シェアの向上に努めた結果、顕著な売上の伸びを示しました。キャンディトイの市場は大きく伸びており、トイ周辺事業の拡大、事業の多角化という点で、私達はこの分野に大きく期待しております。また、当中間期は「マ

イクロエンターテイメント構想」に基づき、かわいらしさと賢さを併せ持つ新商品「マイクロペット」を開発し、米国、日本、欧州等でマーケティングに取り組んでまいりました。マイクロペットは当初から世界市場をターゲットにしたグローバル商材であり、国内以上に海外での販売が好調でした。これらの事業、商品群は順調に推移し、当中間期の全体の売上高も前中間期より伸びましたが、利益面では、売上高全体に占める原価率の高い商品の比率が高まったことなどにより、原価率が悪化し、前期に引き続き赤字となりました。

こうした厳しい状況を踏まえ、株主の皆様には誠に申し訳ございませんが、中間配当を見送らせていただくことといたしました。

## 「利益重視の経営」

当社グループは今期のスタートに当たって、業績面での厳しい現実を踏まえ、「継続的にヒット商品を創出できる体制作り」を最重点の経営テーマとし、もう一度原点に立ち帰り、本業であるトイビジネスを再強化することを主眼に、「顧客第一主義」と現実、現場、現物を直視、把握する「三現主義」の徹底を図るとともに、「利益重視の経営」を推進することを中期の経営基本方針として掲げ

ました。そして、こうした方針に基づき、消費者の視点に立ったマーケティングと商品開発の強化、現状に即した生産・販売・在庫管理システムの再構築、ドラスティックなコストダウン、収益性・効率性を重視した営業戦略の実施、現場主義に基づくライン部門の強化、国内外の赤字子会社の再建 - などの課題を設定しました。

その具体的な施策として、今期に入り、開発機能の統合、スタッフ部門のスリム化、ライン部門への人員シフトなどによる「もの作り」の最優先と販売体制の強化を狙った組織改革や、赤字子会社の(株)トミーテック、トミーフランスの人員削減、事業の再構築等の合理化を実施しました。今後は、トミー本体の収益構造の悪化という当中間期の状況から、売上原価削減を中心とした各コストの削減を第1に、明確な目標・ビジョンの再設定のほか、スピーディで明確な意思決定の仕組みの施行や、積極的な人材登用と若手幹部の抜擢 - を当面の改革の4つのポイントとして掲げ、その具体策の実践に取り組み、利益重視の経営をさらに推進してまいります。そのために、この10月に「業務改革推進本部」を設置しました。事業面では特に、収益の柱となるトミカ、プラレールをはじめとした定番・オリジナル商品を再強化するとともに、ディズニービジネスを最重点事業として展開してまいります。また、トイ周辺事業について、カプセルトイ、キャンディトイ、雑貨等の分野では、ディズニーキャラクターの活用などにより、子会

社を中心に既に成果を上げておりますが、グループとしてその他の分野を含めて、成長戦略の核となる同事業をさらに育成・強化してまいります。

当中間期は、前述のとおり赤字決算となり、厳しい状況が続いておりますが、私は「トミー再生」に向けて、今こそ全社員と危機感を共有し、全社一丸となってこの不振を挽回していきたいと考えております。株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長  
富山 幹太郎

株主の皆様へ

トピックス

決算情報

ネットワーク

ヒストリー

会社概要

中間

## ▶ 第36回東京モーターショー開催！ ちっちゃな「働くくるまのスタジアム」に広がる おっきな歓声!!

「トミカ！トミカ！」、トミーのブースを見つけて声をあげる小さな男の子。まだ言葉もおぼつかないこの男の子は、「お父さん」「お母さん」の次に「トミカ」という言葉を覚えてくれたのだろうか？ そんなことを考えながら、たくさんの笑顔を迎えることができることに改めて幸せを感じた第36回東京モーターショーは、子供たちの大好きな「働くくるま」が主役の商用車ショーとして、10月30日から11月3日までの5日間、幕張メッセにて開催されました。昨年、玩具メーカーとしてはもちろん、自動車関連メーカー以外では初のモーターショーへの協賛ということで話題を呼び、子供から大人まで、幅広い年齢層の方々に楽しんでいただいた実績が高い評価を受け、今年もまた錚々たる出展メーカーと並び、「日本最大の生産台数を誇る自動車メーカー(?)）」として、ブースを展開いたしました。注目度No.1の実車版トミカ・プラレールラッピングトラックをブース中央に展示、昨年たちあげた「トミカドリームモーターズ」のショールームでは、働く車をイメージしたコンセプトカー4台を中心に、これまでに発売された商用車の数々をジャンル毎に展示いたしました。小さな子供たちに大人気だったのが、パトカーやクレーン車といった人気の乗り物や工事現場をモチーフにした空ピ製大型遊具「ふあふあ」で、からだいっぱい使っ

て楽しむ子供たちの大歓声が途絶えることはありませんでした。昨年人気を博した開催記念トミカの販売は、トラックやバスといった商用車ショーならではの6車種を揃え、今年もまた大賑わい。ボディやシートを選んで自分好みのトミカが作れるトミカ博の人気コーナー「トミカ組立工場」も登場。初お目見えとなる「いすゞボンネットバス」は、その懐かしい形状や赤・青・緑といったポップなボディカラーが受けて、これまでになく女性の注目を集めていました。

開場のアナウンスとともに元気よく駆けてくる親子連れ、今年の新製品『マグナムパトラー』を中心とした働く車が数々のジオラマケースに顔をつけて長い時間離れようとしないうる男の子、赤と青、色違いのボンネットバスを1台ずつ作っていく若いカップル、開催記念トミカを前にどれを買おうか考えている年配の男性「トミカ」という小さな小さなミニカーは世代を超えて多くの人たちに愛され続けているのだということを、再確認することができました。



賑わうトミーブース

## ▶ 競争激化のたまご型チョコ市場 ディズニーキャラクター パワー全開！



玩菓初のイベントも大盛況 交換会は人気上々

2年目を迎えた玩菓ビジネスの中核を担うのが、9月23日の北海道地区発売を皮切りに、10月21日東日本、11月25日西日本で発売を始めた『チョコパーティ パート3』です。たまご型チョコのディズニーキャラクターバージョンは、すでにフルタ製菓さんのチョコエッグとして実績があり、ディズニーファンはもとより、若い女性や、小さな子供とお母さんといったファミリー層にまで熱心なファンを集めていました。フルタ製菓さんの第1弾・第2弾を集めていたファンにとって、待ちに待った第3弾として登場した『チョコパーティ パート3』は発売以来快進撃を続け、たまご型チョコのシェアNo.1を獲得する大ヒット商品となりました。『チョコパーティ』の魅力は、豊富なディズニーキャラクターと愛され続ける世界観、そしてその魅力を最大限に引き出す、造形や彩色にこだわったフィギュアの精巧さにあります。11月16日、池袋サンシャイン文化会館において、トミー主催による初めての玩菓イベント「チョコパーティ&キャラパーティThanks Giving Day '02」が開催されました。『チョコパーティ』『キャラパーティ』

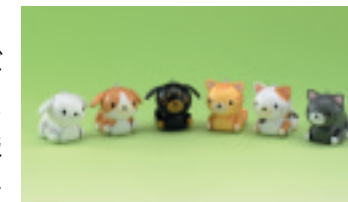
を中心に、日頃のご愛顧に感謝を込めて企画されたこのイベントでは、いち早く新製品をご覧いただく展示コーナーや先行販売・テストセールスコーナー、フィギュアのコレクター向けに交換会などを展開し、ファミリーにもコレクターにも楽しんでいただける先行的な情報発信の場となりました。

## ▶ マイクロペット 世界を駆ける！



マイクロペット スイーツタイプ

6月、世界に先駆けアメリカで発売が開始された「マイクロペット」は、体長50mmにも満たない手のひらサイズでありながら、呼びかけに応じてチャカチャカ歩いて楽しく歌う、とってもけなげで賢いペットです。アメリカに続き、日本では7月から発売され、その後も販売地域を拡大し、現在世界28ヶ国地域で販売されています。日本では、発売当初の12種に続き、三毛やトラをイメージしたリアルタイプ、女の子が大好きな甘いお菓子をイメージしたスイーツタイプと、種類も豊富に取り揃え、コレクション性を高めています。'日本発の遊び心'は世界に通用する「マイクロペット」はグローバルチャレンジアイテムとして、今期1000万個販売を目標に、世界を舞台に元気な姿で快走中です。



マイクロペット リアルタイプ

## 決算情報

単体 連結

株主の皆様へ

トピックス

決算情報

ネットワーク

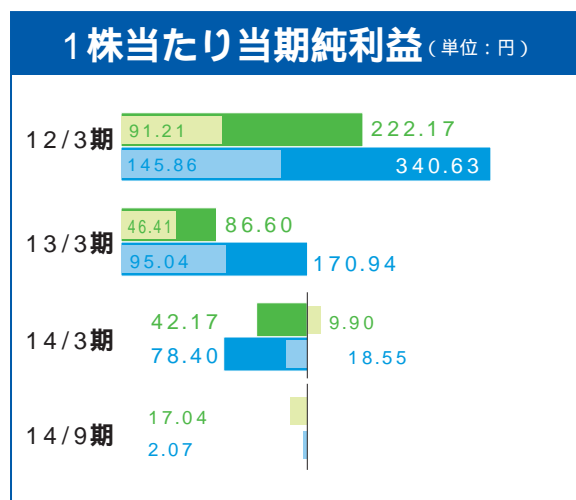
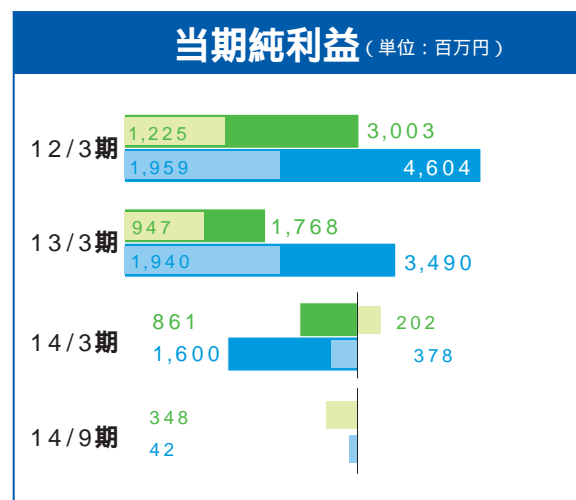
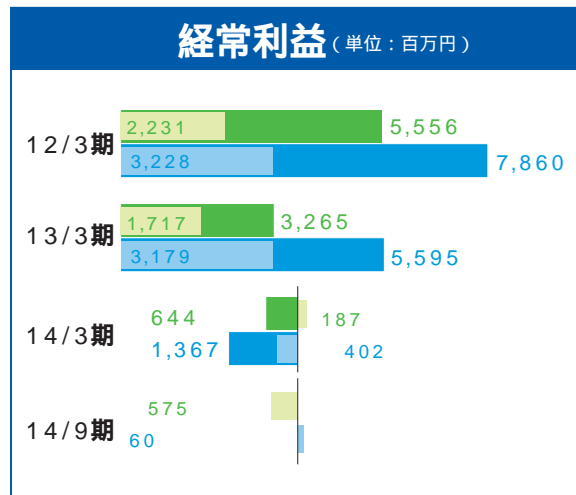
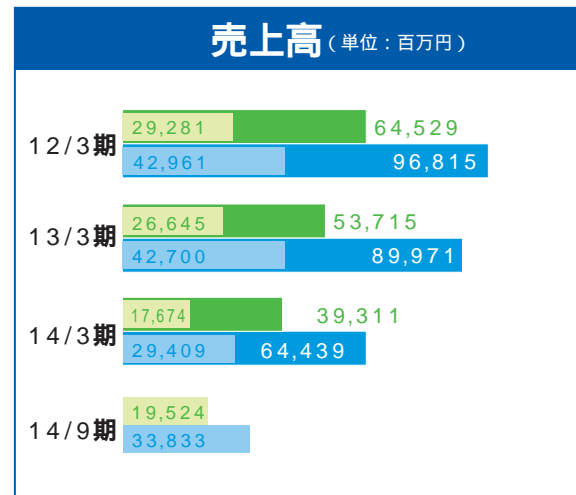
歴史

会社概要

中間

### 業績の推移

単体 ..... 上半期 通期  
連結 ..... 上半期 通期



### 当中間期業績の概況

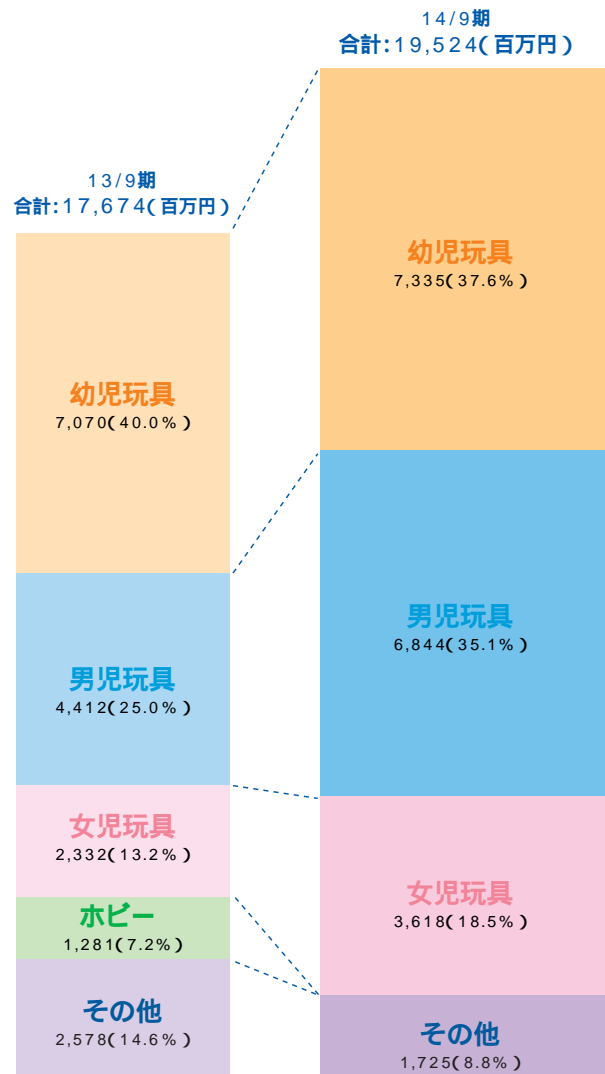
当中間期の玩具業界は引き続き大きな盛り上がりに向けたまま推移しました。

こうしたなかで、当社は、ディズニー関連商品につきまして、グループ、サブライセンサーを含めた事業の本格化を積極的に推進してまいりました。また、市場が大きく伸びているキャンディティイの分野では、ディズニーキャラクターなどを積極的に活用して、他社との差別化、シェアの向上に努めてまいりました。さらに、「マイクロエンターテインメント構想」に基づき、かわいらしさと賢さを併せ持つ新商品「マイクロペット」を開発し、販売に取り組んでまいりました。

この結果、当中間期の売上高は19,524百万円（前年同期比10.5%増）となりましたが、売上高に占める原価率の高いカードゲーム等の商品の比率が上昇したことなどにより、全体の売上原価率が上昇し、売上総利益は減少しました。

また、経費の削減により、販売費及び一般管理費はやや減ったものの、売上総利益の減少が大きく、810百万円の営業損失（前年同期は255百万円の損失）、575百万円の経常損失（前年同期は187百万円の利益）、348百万円の中間純損失（前年同期は202百万円の利益）となりました。

### 部門別売上高の推移



## 部門別売上高の概況 14/9期 合計:19,524(百万円)

<p><b>幼児玩具部門</b> 7,335(37.6%)</p>	<p>定番商品のトミカ、プラレールはやや苦戦しましたが、ディズニー関連商品は「くまのプーさん たためるジム」をはじめとして、引き続き売上を大きく伸ばしました。玩具菓子もディズニーキャラクターの活用などにより、好調に推移し、幼児玩具部門全体としては、7,335百万円（前年同期比3.7%増）となりました。</p>
<p><b>男児玩具部門</b> 6,844(35.1%)</p>	<p>カードゲームの「シャーマンキング」がメディアミックスの継続や新シリーズの展開により、売上が増えました。また、スターウォーズ関連商品が映画公開との連動により、売上に貢献したほか、今期の新商品「ヒカリアン」シリーズが新たに売上に加わり、男児玩具全体としては、6,844百万円（前年同期比55.1%増）と、大幅に増えました。</p>
<p><b>女兒玩具部門</b> 3,618(18.5%)</p>	<p>新商品の「マイクロペット」が音調認識によるアクションなどの優れた機能と手のひらにのるかいらしさから、幅広く人気を集めました。このほか、前期に好調だった好きな形のままにシールを作ることができる女兒ホビーの「セラエクセレント」が売上を伸ばし、女兒玩具全体としては、3,618百万円（前年同期比55.1%増）となりました。</p>
<p><b>その他部門</b> 1,725(8.8%)</p>	<p>文具、アパレル等の子供用生活雑貨用品の減少が響き、その他部門全体としても、1,725百万円（前年同期比33.1%減）となりました。</p>



幼児玩具



男児玩具



女兒玩具

(注) 鉄道模型トミックスを主力とするホビー部門は前下半期より、子会社の(株)トミーテックに移管され、なくなりました。

株主の皆様へ

トピックス

決算情報

ネットワーク

ヒストリー

会社概要

中間

## 貸借対照表

(単位:百万円)

### 流動資産

子会社に対する「短期貸付金」が一部「長期貸付金」に振替えられたことにより、減少しました。

### 固定資産

子会社に対する「長期貸付金」が上記の振替えなどにより、増加しました。また、税効果会計に係る「繰延税金資産」が増加しました。

### 流動負債

償還期限が1年以内となった転換社債が固定負債から振替えられたほか、「短期借入金」などが増加しました。

### 固定負債

フランスの販売子会社に対する「債務保証損失引当金」の計上がありましたが、上記の転換社債の振替えなどにより、減少しました。

### 資本剰余金、利益剰余金

規則の改正により、新たに表示されました。従来の「資本準備金」は「資本剰余金」に、従来の「利益準備金」、「その他の剰余金」は「利益剰余金」に含まれます。

科目	金額		
	当中間期 平成14年9月30日現在	前中間期 平成13年9月30日現在	前期 平成14年3月31日現在
<b>資産の部</b>			
●流動資産	30,218	31,442	30,226
●固定資産	17,027	14,682	15,046
繰延資産	5	61	7
資産合計	47,252	46,186	45,280
<b>負債の部</b>			
●流動負債	23,049	11,228	11,154
●固定負債	5,725	14,701	15,210
負債合計	28,774	25,929	26,364
<b>資本の部</b>			
資本金	2,989	2,989	2,989
●資本剰余金	2,936		2,936
資本準備金		2,936	2,936
●利益剰余金	12,608		747
利益準備金		747	747
再評価差額金	25		25
その他の剰余金		13,681	12,311
その他有価証券 評価差額金	77	97	91
自己株式	5	0	3
資本合計	18,477	20,256	18,915
負債及び資本合計	47,252	46,186	45,280

## 損益計算書

(単位:百万円)

### 売上高

男児玩具部門を中心に増加しました。

### 売上原価

売上高に占める原価率の高い商品の比率が上昇したことなどにより、全体の売上原価率が上昇し、売上総利益は減少しました。

### 販売費及び一般管理費

経費の削減により、やや減少し、売上高の増加と相俟って、対売上高比率も低下しました。

### 特別損失

株式市況の悪化により、当中間期も株式評価損が発生しました。

科目	金額		
	当中間期 平成14年4月1日から 平成14年9月30日まで	前中間期 平成13年4月1日から 平成13年9月30日まで	前期 平成13年4月1日から 平成14年3月31日まで
●売上高	19,524	17,674	39,311
●売上原価	13,585	10,730	36,321
売上総利益	5,939	6,943	12,990
●販売費及び一般管理費	6,749	7,198	14,253
営業利益	810	255	1,263
営業外収益	522	875	1,403
営業外費用	287	433	784
経常利益	575	187	644
特別利益	1	152	183
●特別損失	65	160	1,430
税引前 中間(当期)純利益	639	179	1,891
法人税、 住民税及び事業税	30	1	102
法人税等調整額	322	21	927
中間(当期)純利益	348	202	861
前期繰越利益	628	595	595
中間配当額			306
中間(当期)未処分利益	280	797	571

株主の皆様へ

トピックス

決算情報

ネットワーク

ヒストリー

会社概要

中間

### ◆ 当中間期業績の概況

当中間期の連結売上高はトミー単体に加え、海外販売子会社なども順調に推移し、33,833百万円（前年同期比15.0%増）となりました。また、売上高に占める原価率の高いカードゲーム等の商品の比率が上昇したことなどにより、全体の売上原価率は上昇したものの、増収効果により、売上総利益は増加しました。一方、積極的な新商品開発や販売促進活動に伴い、研究開発費、広告宣伝費等が増え、販売費及び一般管理費はやや増加したものの、売上総利益の増加がこれを吸収して、営業利益は395百万円（前年同期は37百万円の損失）、経常利益は60百万円（前年同期は402百万円の損失）となりました。しかし、最終損益段階では、投資有価証券評価損の計上などにより、42百万円の間接純損失（前年同期は378百万円の損失）となりました。

セグメント別の状況は下記のとおりです。

#### 玩具事業

ディズニー関連商品がぬいぐるみ等を含めた幅広い商品展開など、事業の本格化により、大幅な売上増となりました。キャンディトイやカプセルトイもディズニーをはじめとしたキャラクターの積極的な活用や販路の拡大などにより、引き続き好調に推移しました。また、スター・ウォーズ関連商品が映画公開との連動により、売上に寄与し、カードゲームの「シャーマンキング」も売上を伸

ばしました。加えて、米国市場でゾイドがハスプロ社との提携や、テレビアニメ放映との相乗効果により、順調だったほか、新商品のマイクロペットが音調認識によるアクションなどの優れた機能と手のひらにのるかわいらしさから、人気を集めました。マイクロペットは米国に次いで、日本、欧州でも発売され、国内外とも新たに売上に寄与しました。この結果、玩具事業全体の売上高は32,713百万円（前年同期比20.1%増）となりました。

#### その他の事業

インスタントカメラのOEM生産の受注がなくなったことなどにより、その他の事業全体の売上高は1,120百万円（前年同期比48.4%減）となりました。

### ◆ 貸借対照表

（単位:百万円）

科目	金額		
	当中間期 <small>平成14年9月30日現在</small>	前中間期 <small>平成13年9月30日現在</small>	前期 <small>平成14年3月31日現在</small>
<b>資産の部</b>			
流動資産	43,941	44,075	39,690
固定資産	14,569	14,056	14,736
繰延資産	5	61	7
資産合計	58,517	58,192	54,434
<b>負債の部</b>			
流動負債	33,789	21,722	19,748
固定負債	4,547	14,928	14,144
負債合計	38,336	36,651	33,893
<b>少数株主持分</b>	25		
<b>資本の部</b>			
資本金	2,989	2,989	2,989
資本剰余金	2,936		
資本準備金		2,936	2,936
利益剰余金	15,423		
再評価差額金	25		25
連結剰余金		17,134	15,606
その他有価証券 評価差額金	44	95	49
為替換算調整勘定	1,169	1,423	963
自己株式	5	0	3
資本合計	20,155	21,541	20,541
負債、少数株主持分 及び資本合計	58,517	58,192	54,434

### ◆ 損益計算書

（単位:百万円）

科目	金額		
	当中間期 <small>平成14年4月1日から 平成14年9月30日まで</small>	前中間期 <small>平成13年4月1日から 平成13年9月30日まで</small>	前期 <small>平成13年4月1日から 平成14年3月31日まで</small>
売上高	33,833	29,409	64,439
売上原価	22,003	18,197	42,046
売上総利益	11,830	11,211	22,393
販売費及び一般管理費	11,434	11,249	23,333
営業利益	395	37	940
営業外収益	200	205	522
営業外費用	535	570	949
経常利益	60	402	1,367
特別利益	3	152	187
特別損失	83	167	563
税金等調整前 中間(当期)純利益	18	416	1,743
法人税、 住民税及び事業税	471	280	397
法人税等調整額	461	319	539
少数株主利益	13		
中間(当期)純利益	42	378	1,600

## キャッシュフロー計算書

(単位:百万円)

(単位:百万円)

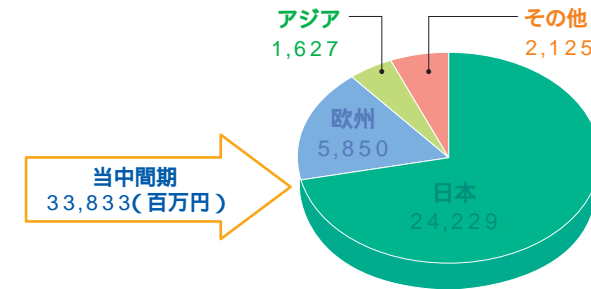
科目	金額			科目	金額		
	当中間期 平成14年4月1日から 平成14年9月30日まで	前中間期 平成13年4月1日から 平成13年9月30日まで	前期 平成13年4月1日から 平成14年3月31日まで		当中間期 平成14年4月1日から 平成14年9月30日まで	前中間期 平成13年4月1日から 平成13年9月30日まで	前期 平成13年4月1日から 平成14年3月31日まで
<b>営業活動によるキャッシュフロー</b>				<b>投資活動によるキャッシュフロー</b>			
税金等調整前中間(当期)純損失	18	416	1,743	有価証券の取得による支出	200	1,064	1,264
減価償却費	1,035	862	2,069	有価証券の売却による収入	514	1,664	1,741
有形固定資産売却損	9	0	32	有形固定資産の取得による支出	1,271	1,194	2,147
繰延資産償却額		51	106	有形固定資産の売却による収入	6	163	250
貸倒引当金の増減額	9	17	1	投資有価証券の取得による支出	16	60	692
退職給付引当金の増減額	50	31	5	連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出		66	66
役員退職慰労引当金の増加額		18	34	その他	167	144	25
受取利息及び受取配当金	63	77	118	投資活動によるキャッシュフロー合計	1,132	701	2,154
支払利息	125	175	303	<b>財務活動によるキャッシュフロー</b>			
有価証券売却損益		0	27	短期借入金の純増減額	3,673	2,101	600
投資有価証券評価損	62		202	長期借入れによる収入	800		
売上債権の増加額	2,519	2,078	955	長期借入金の返済による支出	615	616	1,037
たな卸資産の増減額	3,299	1,850	1,088	配当金の支払額	106	304	607
未収入金の増減額	13	218	111	その他	2	0	2
前払費用の増加額	70	868	635	財務活動によるキャッシュフロー合計	3,748	1,180	2,248
長期前払費用の増加額	17	15	98	<b>現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	137	34	151
仕入債務の増減額	1,021	217	1,088	<b>現金及び現金同等物の減少額</b>	930	6,395	7,217
未払金の増減額	421	199	140	<b>現金及び現金同等物の期首残高</b>	15,789	23,041	23,041
未払費用の増減額	822	711	396	<b>新規連結子会社の現金及び現金同等物</b>	28		
預り保証金の減少額	63	397	433	<b>除外連結子会社の現金及び現金同等物</b>		34	34
その他	555	1,972	67	<b>現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高</b>	14,887	16,611	15,789
小計	3,065	5,633	1,514				
利息及び配当金の受取額	60	82	118				
利息の支払額	154	276	343				
法人税等の支払額	249	1,010	1,227				
営業活動によるキャッシュフロー合計	3,408	6,839	2,965				

### キャッシュフローの状況

当中間期末における連結ベースの現金及び現金同等物の残高は、前期末と比較して902百万円減少し、14,887百万円となりました。これは主として、運転資金を短期借入金で調達したことなどにより、財務活動によるキャッシュフローがプラスとなる一方で、クリスマス商戦に向けた新商品投入等によるたな卸資産の増加や売上債権の増加、金型等の有形固定資産の取得などにより、営業活動および投資活動によるキャッシュフローがマイナスとなったことによるものです。

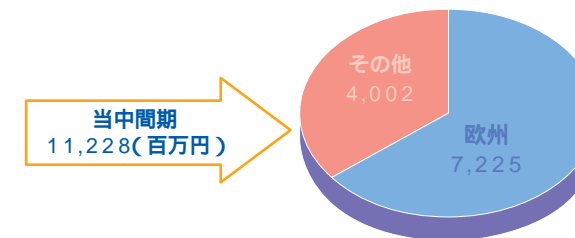
## セグメント情報

所在地別売上高 (単位:百万円)

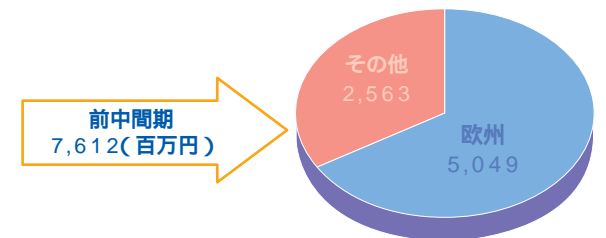
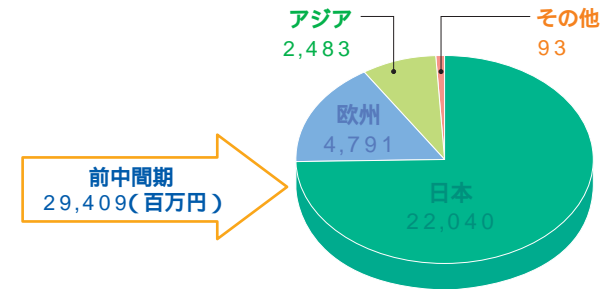


欧州：イギリス、フランス  
アジア：香港、タイ  
その他：北米等

海外売上高 (単位:百万円)



欧州：イギリス、フランス等  
その他：北米、香港等



株主の皆様へ

トピックス

決算情報

ネットワーク

ヒストリー

会社概要

中間



株主の  
皆様へ

トピックス

決算情報

ネット  
ワーク

ヒストリー

会社概要

中間

## 海外ネットワーク

### 欧州

欧州では北米に次いで大きな玩具市場が形成されております。

1982年英国に設立したTOMY UK LTD は、フランス、ベルギーを除く欧州全域において販売を行っており、英国の幼児玩具の分野では、トップクラスの地位を誇っております。この幼児玩具部門を安定基盤として、カプセルトイの分野に進出するなど、事業領域の拡大にも注力しております。

1985年フランスに設立したTOMY FRANCE S.A.R.L はフランス、ベルギーでの販売を担当しております。



TOMY UK LTD.



TOMY FRANCE S.A.R.L.

当中間期は2社とも業績が回復、特にフランスは人員削減等の再建策が効を奏して、利益面でも大きく改善しております。今後、2社の機能統合を軌道に乗せ、欧州における拡販を推進してまいります。

### アジア

アジアは当社の海外進出の最初の地であり、1970年香港に設立したTOMY(HONG KONG)LTD がその第一歩となりました。以来、同社は現地の玩具製造業者と技術力、品質管理能力を共有することにより、優れた商品を世界に提供しており、その品質の高さを裏づけるように、国際標準規格「ISO9001」を取得、次いで、環境管理に関する国際標準規格「ISO14001」も取得しております。アジア向けの外部販売の分野では、トミカ・プラレールに加え、ゾイドの売上が堅調に推移、今後はディズニー関連商品の拡販にも取り組んでまいります。

1987年タイに設立したTOMY(THAILAND)LTD は、



TOMY (HONG KONG) LTD.



TOMY (THAILAND) LTD.

自前の工場と1000人を超える従業員を有しており、ホンコン同様、トミーグループにおける一大生産拠点となっております。同社は「ISO9002」を取得しており、コストダウン、生産効率向上に継続して取り組み、グループの利益率向上に貢献しております。

### 北米

当社は1973年から世界最大の玩具市場である北米に進出しており、1998年に、それまでの販売子会社を閉鎖し、TOMY CORPORATIONを設立しました。当社グループ商品のウォルマート、トイザラスなどへの販売の支援と情報収集を行っておりますが、今後はマーケティングカンパニー化により、米国での拡販を推進してまいります。その一環として、今年の6月よりグローバル商材のマイクロペットを日本、欧州などに先行して販売、これにより、同社の収益は大きく伸びております。また、1999年に当社の子会社(株)ユージンと共同でTOMY YUJIN CORPORATIONを設立し、カプセルトイの販売を開始しました。売上規模はまだ小さいものの、主力店舗へのマシンの設置数の増加に伴い、着実に伸びており、今後の成長が期待されます。



TOMY CORPORATION  
TOMY YUJIN CORPORATION

## 国内ネットワーク

### 本社・営業所

- 本社  
〒124-8511 東京都葛飾区立石7-9-10
- 東京営業所  
〒124-8511 東京都葛飾区立石7-9-10
- 名古屋営業所  
〒461-0003 名古屋市中区錦3-2-1
- 大阪営業所  
〒567-0891 茨木市水尾1-1-13
- 九州営業所  
〒812-0013 福岡市博多区博多駅前2-17-26

### 国内子会社(11社)

- |            |                    |
|------------|--------------------|
| 小物玩具販売     | (株)ユージン            |
| 玩具卸        | (株)ユーエース           |
| 生活雑貨販売     | (株)ユーメイト           |
| 玩具雑貨販売     | (株)ハートランド          |
| 玩具類の企画開発   | (株)トミーデベロップメントセンター |
| 玩具輸入販売     | (株)トミーダイレクト        |
| 物流サービス     | トミー流通サービス(株)       |
| 玩具製造販売     | (株)トミーテック          |
| 書籍販売・不動産賃貸 | トミー興産(株)           |
| システム企画     | トミーシステムデザイン(株)     |
| 遊戯施設の運営    | (株)プレイングダム         |



トミー本社

株主の  
皆様へ

トピックス

決算情報

ネットワーク

ヒストリー

会社概要

中間

## ——そして「ZOIDS」の新たなチャレンジが始まる！——

「メカボニカ」という名称で登場したポップアップキット式プラスチックモデルは、日本での苦戦を尻目に空前の大ヒットを記録したアメリカからの凱旋帰国後、1983年、商品名を「ZOIDS」と改名しロングセラーキャラクターとしての道を歩き始めました。一時休止の時期を経て、メディアミックスという手法で甦ったZOIDSは、2001年アメリカ市場への再導入も果たし、TVアニメ放映も奏効して好調を維持し2年目を迎えようとしています。アメリカ市場への参戦を果たした2001年、日本ではひとつの転機が訪れていました。足掛け2年にわたるTVアニメの放映が終了、生命線をたれたかと囁かれたZOIDSでしたが、子供たちに絶大な支持を誇る少年コミック誌「コロコロコミック」(小学館刊)誌上における新マンガ「ZOIDS惑星Zi」の掲載や店頭での新CGムービーの放映などにより、ZOIDSのストーリー設定や世界観を改めて始めからわかりやすく浸透させるというマーケティングを展開することで、固定ファンはもとより新規ユーザーの取り込みに積極的に取り組んでいきました。2002年6月には、新規ユーザー獲得の切り札として、パーツ組み替えが自由に何度でも楽しめ、自分だけのオリジナルゾイドを簡単に作れる「BLOX(ブロックス)」を投入。新しい遊びの提案とZOIDSシリーズの活性化、この2つの狙いのもとに登場した「BLOX(ブロックス)」は、ファン層の拡大に向けて大きな牽引役を果たしています。小さなプラスチックのおもちゃとして誕生したZOIDSは、やがてアニメに映像にと、その活躍の場を広げてまいりました。



BLOXシリーズにNEWヒーロー「レオストライカー」登場!  
©1983-2002 TOMY

来年には、任天堂株式会社より供給を受けるゲームボーイアドバンス初の専用赤外線アダプター(仮)を活用しZOIDSを遠隔操作する、ゲームソフトと玩具の融合といった新しい遊びの提案も企画しています。

2003年、「ZOIDS」は生誕20周年を迎えます。私たちは、さらに新しい遊びの価値を創造することで、ZOIDSにさまざまな可能性を見出していきたいと考えています。



ゲームとの融合「サイバードライブゾイド(仮称)」  
©2003 TOMY/NDCUBE Co., Ltd.  
Powered by Mascot Capsule(R) Engine Mascot Capsuleは(株)エイチアイの登録商標です。」

## 会社概要 平成14年9月末現在

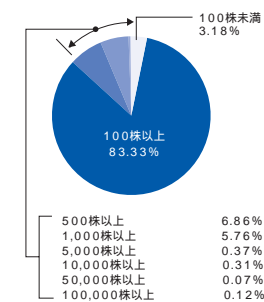
商号	株式会社トミー	
所在地	東京都葛飾区立石7丁目9番10号	
設立	昭和28年1月17日(創業大正13年)	
資本金	29億8,994万円	
発行済株式総数	20,419,299株	
主な事業内容	1 各種玩具雑貨類の企画・製造・販売ならびに輸出入 2 テレビゲームソフト、乳幼児関係商品等の企画・製造ならびに販売 3 コンピュータのソフトウェアの企画・開発・製造ならびに販売	
役員	代表取締役社長兼最高経営責任者	富山 幹太郎
	常務取締役兼最高執行責任者	奥秋 四良
	取締役兼最高海外業務責任者	高橋 勇
	取締役	落合 稔
	取締役	渡辺 泰行
	常勤監査役	松崎 坦
	監査役	吉成 外史
	監査役	堀内 国宏
	監査役	梅田 常和
執行役員	ディズニー企画本部長	三森 隆
	企画本部長	柳澤 茂樹
	管理本部長	松葉 光雄
従業員	389名(出向者、嘱託等を除く)	
取引銀行	三井住友銀行 商工組合中央金庫 東京三菱銀行 みずほコーポレート銀行 大和銀行 足利銀行 新生銀行 東京都民銀行 中央三井信託銀行 千葉銀行	

## 株式の状況 平成14年9月末現在

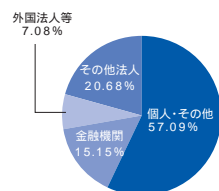
会社が発行する株式の総数	60,000,000株
発行済株式の総数	20,419,299株
1単元の株式数	100株
株主数	20,269名

大株主(上位10名)	持株数	持株比率(%)
有限会社トミーインシュアランス	2,260,476	11.1
富山幹太郎	1,963,200	9.6
富山長次郎	1,856,000	9.1
東京中小企業投資育成株式会社	763,956	3.7
富山優	480,882	2.4
司不動産合資会社	472,680	2.3
包括信託受託者三井アセット信託銀行株式会社(委託者株式会社三井住友銀行)	450,000	2.2
富山章江	434,772	2.1
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	341,600	1.7
塚谷佳代子	292,552	1.4

### 所有株式数別株主数比率



### 所有者別株式数比率



株主の  
皆様へ

トピックス

決算情報

ネットワーク

ヒストリー

会社概要

中間